

新訂

逆引き 季語辞典

末尾のことばから類語を探す

凡 例

1. 本書の内容

本書では、季語 2 万 3439 語を通常とは逆に末尾から読んでその五十音順に排列した。

2. 見出し

- (1) 平仮名書きとし、原則現代仮名遣いに準拠した。また「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」は区別した。
- (2) 特に基本的と思われる季語は、肩に*をつけて示した。

3. 標準表記

- (1) 漢字表記を原則としたが、平仮名や片仮名表記が一般的なものはその慣例に従った。なお表記が複数ある場合は、可能な限り列挙した。
- (2) 見出しの場合と同様、原則現代仮名遣いに準拠し、「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」は区別した。

4. 季節と分類

- (1) 季節と分類は [] で示した。
- (2) 季節は春・夏・秋・冬・新年（「新」と略記）に分けた。
- (3) 分類は時候・天文・地理・生活・行事・動物・植物を漢字の先頭一字で略記した。

5. 語義・語釈

季語の意味について、簡略な説明を加えた。

6. コラム（囲み）

- (1) 下語や末尾の漢字が共通する季語を適宜まとめ、コラムとして随所に挿入した。
- (2) 「風（かぜ）」と「風（ふう）」と「東風（こち）」などのように排列が大きく異なるものは、コラム同士に相互参照を付した。

◆ あ ◆

すきーうえあ スキーウェア
〔冬生〕スキーやスノーボードなどの際に衣服の上から着用するスーツ

すぶりんぐうえあ スプリングウェア〔春生〕春に着る洋服

びーちうえあ ビーチウェア
〔夏生〕海浜着

さまーうえあ サマーウェア
〔夏生〕夏に用いる女性の洋装の総称

でらうえあ デラウェア〔秋植〕葡萄の品種の一つ

ぎんようあかしあ 銀葉アカシア
〔春植〕アカシアの一種。マメ科オジギソウ属。葉は銀色で、細い枝に黄色い花が球のように咲く

にせあかしあ ニセアカシア
〔夏植〕マメ科の落葉高木。五月頃、密集した白い花が房状に枝から垂れて咲く

はなあかしあ 花アカシア〔夏植〕アカシアの花のこと。初夏に房状で下垂する白い花をつける

いきしあ* イキシア〔春植〕アヤメ科の多年草。剣のような葉をもち、春、黄色い、根元に茶の斑点のある花をつける。赤や白もある

ふくしあ* フクシア〔夏植〕熱帯性花木の園芸種。晩夏に葉元から白・桃・紅紫などの花を下垂する

すとけしあ* ストケシア〔夏植〕北アメリカ原産の宿根草

ねめしあ* ネメシア〔夏植〕早春鉢植えまたは花壇に植えて觀賞する植物

ふりーじあ* フリージア〔春植〕アメヤ科の多年草。五月頃、芳香がある白・赤・黄・紫など

の花が咲く

ぼいんせちあ* ボインセチア
〔冬植〕中米原産の観葉植物で、クリスマス飾りに使う

べごにあ* ベゴニア〔夏植〕ブラジル原産の植物。元来は夏の花だが、品種改良により秋にも咲くようになっている

じにあ ジニア〔夏植〕百日草の別称。七月から九月まで多彩な色の花が咲き続ける

ぐるきしにあ* グロキシニア
〔夏植〕ブラジル原産の塊茎植物

べちゆにあ* ベチュニア〔夏植〕南米原産の一年草。初夏から秋までラッパ状の花をつける

とれにあ* トレニア〔夏植〕高さ三十センチぐらいになる草花で、切り込みのある葉が対生し、のちに赤みを帯びて美しい

ざるびあ* サルビア〔夏植〕シソ科の植物。晩夏から秋にかけ、茎の上方に赤い色の唇形花をつける

ぱーとれつときーふあー パートレット=キーファー〔秋植〕洋梨の一種。梨は秋の季語

ざーふあー サーファー〔夏生〕サーフィンをする人

べあー ベアー〔秋植〕洋梨。ヨーロッパ原産のバラ科ナシ属の植物、その果実

ざんぼあ ざんぼあ〔冬植〕朱槿の別称

ふいぎゆあ フィギュア〔冬生〕フィギュアスケートのこと。スケートリンクでステップ、スピン、ジャンプなどの技を組み合わせて、音楽に乗せて滑走する競技

だりあ* ダリア〔夏植〕キク科の春植え球根草。夏から秋にかけて開花するが、品種改良が進み、色も形もさまざま。觀賞用に広く栽培されている

こうていだりあ* 皇帝ダリア〔秋植〕メキシコから中南米が原

産のキク科の多年草。キタダダリアの別称

ほんぼんだりあ ポンポンダリア〔夏植〕ダリアの一種。夏から秋にかけて開花する

ますかつとおぶあれきさんどりあ マスカット=オブ=アレキサンドリア〔秋植〕葡萄の品種の一つ

さいねりあ サイネリア〔春植〕シネリヤの別称。病人の見舞品とするとき「シ」の音を忌んだからという

ろべりあ* ロベリア〔春植〕キョウ科の一年草。晩春から初夏にかけ、瑠璃色の花をつける

あるめりあ アルメリア〔春植〕ハマカンザシの別称

しねりりあ シネリリア〔春植〕アフリカ原産のキク科植物。晩春、紅・赤・紫・白など色とりどりの花を房状につける

まらりあ マラリア〔夏生〕マラリヤの別称

あざれあ* アザレア〔春植〕シャクナゲ科の常緑灌木で躑躅の一種

かどれあ* カトレア〔冬植〕中南米原産の洋蘭で、温室栽培して冬に花を楽しむ

かんあ 寒鴉〔冬動〕冬、餌を求めて人家に近づく鴉

◆ い ◆

〔位〕い → 〔五位〕ごい
〔叙位〕じょい

〔意〕い → 〔用意〕ようい
《春》春意
《夏》涼意
《秋》秋意
《冬》雪意

〔衣〕い → 〔衣〕え、き、き

ぬ、ころも 【更衣】ころも
がえ 【浴衣】ゆかた
《春》春衣
《秋》浴衣 搦衣

【井】い
《春》御衣井 種井
《夏》晒井 濁り井 吹井 噴井
《新》若井

【居】い → 【芝居】しばい
【端居】はしい

【間】い
《夏》間 青間 大間 草間 小
髭間 唐間 生間 太間
細間

い* 間 [夏植] 湿地に自生するイ
グサ科の多年草。夏から秋にか
け緑茶色の小花をつける。夏に
伸びた茎を刈って畳や蓆などの
材料に使う

【合】あい → 【合(せ)】あ
わせ 【百合】ゆり
《春》鶺鴒の蹴合
《夏》水掛合 水試合
《秋》頼合 星合
《新》初寄合

【藍】あい → 【甘藍】かんら
ん 【藍】らん
《夏》一番藍 インド藍 呉藍
二番藍 山藍 琉球藍
《秋》韓藍

あい あい [夏天] 夏に日本海側
で吹く北または北東のそよ風
りゅうきゅうあい 琉球藍 [夏
生] 藍の一種

どようあい* 土用あい [夏天]
「あいの風」のうち、土用中に吹
く涼しい北風のことを特にこう
いう

みずかけあい 水掛合 [夏生]
夏、子どもたちが水遊びする
こと

とりのけあい 鶺鴒の蹴合 [春行]
雄鶏同士を闘わせて勝負を争う

遊び。近世まで三月三日の節句
で宮中行事として行われた

みずじあい 水試合 [夏生] 夏、
子どもたちが水遊びすること

ほしあい* 星合 [秋行] 陰暦七
月七日(七夕)の夜に、天の川で
隔てられた牽牛星と織女星が一
年に一度だけ相会するという伝
説。古来日本では七夕祭の織り
姫と彦星として伝承されてきた

かちあい かちあい [冬生] 雪遊
びの一つ。堅いこぶし大の雪玉
をつくり、相手の雪玉に自分の
雪玉を力まかせに打ちつけて、
砕けたほうを負けとする

はつたちあい 初立会 [新生] 証
券取引所での新年の初取引

もちあい* 餅間、餅間 [新時]
松が取れてから、正月十四日に
もう一度餅を搗くまでの期間

いんどあい インド藍 [夏生] 藍
の一種

くれのあい 呉藍 [夏植] 紅花の
別称。夏に咲く花から紅をとる
やまいち 山藍 [夏生] 藍の一種
たのみあい 頼合 [秋行] 八朔
(陰暦八月朔日)行事で行なわれ
る贈答のこと

からあい 韓藍 [秋植] 鶏頭の
古称

とりのけりあい 鶺鴒の蹴合 [春
行] 鶺鴒の蹴合(とりのけあい)に
同じ

はつよりあい 初寄合 [新生] 毎
月例会を催されている会合が、
新年初めて開催される場合の一
般的総称

かんあい 寒露 [冬天] 冬の日に
立ちこめる霧で、冬霞とほぼ
同じ

いちばんあい 一番藍 [夏生] 六
月頃、開花に先だって刈る藍

にばんあい 二番藍 [夏生] 一番
藍の株から発芽した藍

【飯】いいい → 【御飯】ごはん
【菜飯】なめし 【飯】はん、
めし

《夏》引飯 乾飯 干飯

ひきいいい 引飯 [夏生] 干飯の
別称

ほしいい* 干飯、乾飯、糍 [夏
生] 天日で乾燥させた携帯用の
飯のこと

どうみょうじほしいい 道明寺
糍 [春行] 春の道明寺祭で売られ
た、道明寺の尼僧がつくった糍

かれいいい かれいいい、乾飯 [夏
生] 干飯の別称

とうい 唐蘭 [夏植] 太蘭の別称

とうい 搦衣 [秋生] 布をやわら
かくするために碇打ちをすること。
碇打ちは秋の夜なべ仕事と
された

しゅうい* 秋意 [秋生] 秋の心
情、秋のムードのこと

【用意】ようい → 【意】い
《秋》冬用意 盆用意
《冬》年用意

としようい* 年用意 [冬生] 新
年を迎えるため、年末に様々な
準備をすること

ふゆようい 冬用意 [秋生] 冬を
迎えるためのさまざまな雑事、
またその心持ち

りようい 涼意 [夏時] 暑い夏に
ひととき涼しく感じるこ

ぼんようい* 盆用意 [秋行] 盆
を迎える準備、あるいはその心
持ち

【泳】えい → 【泳(ぎ)】お
よぎ
《夏》遠泳 競泳 御前泳 水泳
背泳 平泳 遊泳 立泳
《冬》寒泳 寒中水泳

【英】えい → 【紫雲英】げん
げ 【蒲公英】たんぽぽ
《秋》白英
《冬》玄英

えい 鰮、鰯 [夏動] アカエイ科
に属する底魚。夏が旬

すいえい 水泳 [夏生] 夏、海や

川やプールでの水泳のこと
かんちゅうすいえい* 寒中水
泳 [冬生] 寒中に行なう水泳。寒
稽古の一つ

はいえい 背泳 [夏生] 泳ぎの型
へいえい 平泳 [夏生] 泳ぎの型
ゆうえい 遊泳 [夏生] 泳ぎの
こと

ぎゅうえい 牛蒡 [夏植] 羊蹄
(ぎしぎし)の別称。五、六月頃
に薄緑色の小花を群生させる

にゅうえい* 入営 [冬生] 太平
洋戦争前、徴兵検査に合格した
兵役義務者および志願により兵
籍に編入される者が、初めて兵
営にはいったこと

きょうえい 競泳 [夏生] 泳ぐ速
さを競う夏の水上競技の一つ

ちゅうえい 長瀛 [夏時] 夏の
別称

あかえい* 赤鰮 [夏動] アカエ
イ科に属する底魚。夏が旬

はくえい 白英 [秋植] 鶴上戸の
漢名。花が白いことによる名。
実は晩秋に赤く熟する

しえい 試類 [新生] 書初めの
こと

りつえい 立泳 [夏生] 泳ぎの型
はなのえい 花の酔 [春生] 花見
の宴会で酔うこと

はつひえい* 初比叡 [新地] 元
日に見る比叡山

やえい 野営 [夏生] 野外にテン
トを張るなどして宿泊すること

えんえい 遠泳 [夏生] 長い距離
を泳ぐこと。夏のスポーツの
一つ

かんえい* 寒影 [冬生] 冬の
寒々とした影のこと

かんえい 寒泳 [冬生] 寒中に行
なう水泳。寒稽古の一つ

げんえい 玄英 [冬時] 冬の別称
ごぜんえい 御前泳 [夏生] 泳ぎ
の型

【追】おい → 【追う】おう
《夏》相馬野馬追 野馬追 虫追

《秋》馬追 虫追
《新》秋田の鳥追 鳥追 土龍追

【葵】あおい → 【蜀葵】
しょつき 【向日葵】ひま
わり 【山葵】わさび

《夏》葵 和蘭水葵 懸葵 賀茂
葵 蜀葵 錦葵 白根葵 白
葵 銭葵 立葵 つる葵 蔓
葵 天竺葵 黄蜀葵 花葵
日向葵 双葉葵 二葉葵 布
袋葵 水葵 紅蜀葵

《秋》龍葵
《冬》寒葵 冬葵

あおい* 葵 [夏植] アオイ科の二
年草の総称

あおい 青間 [夏植] 太蘭の別称

ほていあおい* 布袋葵 [夏植]
ミズアオイ科の水生多年草。葉
柄のふくらんでいる様子が「布
袋さま」の腹に似ていることか
らの名。真夏に薄紫の花が咲く

りゅうあおい 龍葵 [秋植] イヌ
ホオズキの別称

ひゅうがあおい 日向葵 [夏植]
向日葵の別称

にしきあおい 錦葵 [夏植] 葵の
一種

てんじくあおい 天竺葵 [夏植]
ゼラニウム属の和名

てんじくあおい 天竺葵 [夏植]
向日葵の別称

かけあおい 懸葵 [夏行] 葵祭で
社殿や御簾に葵を懸けること

こあおい 錦葵 [夏植] 葵の一種

もみじあおい 紅蜀葵 [夏植] 北
米原産のアオイ科の多年草で、
晩夏に緋紅色の大きな花を開く

みずあおい* 水葵、雨久花 [夏
植] ミズアオイ科の一年草。水
田などに自生。夏、青紫の小花
をつける

おらんだみずあおい 和蘭水葵
[夏植] 布袋葵の別称

ひなたあおい 日向葵 [夏植] 向
日葵の別称

たちあおい 立葵 [夏植] 葵の

一種

はなあおい 花葵 [夏植] アオイ
科の二年草の花の総称。夏に開
花する

ぜにあおい 銭葵 [夏植] 葵の
一種

しらねあおい* 白根葵 [夏植]
キンボウゲ科の多年草で、日光
の白根山にちなんだ名。夏に單
色の花をつける

かものあおい 賀茂葵 [夏植] 二
葉葵の別称。初夏五月頃、淡い
赤紫の小花をつける。葵祭で使
う葵のこと

ふたばあおい* 二葉葵、双葉
葵、双葉細辛 [夏植] ウマノス
ズクサ科の多年草。初夏五月頃、
淡い赤紫の小花をつける

もろはあおい 双葉葵 [夏植] 二
葉葵の別称。初夏五月頃、淡い
赤紫の小花をつける。葵祭で使
う葵のこと

かものあおい 賀茂葵 [夏植] 二葉
葵の別称。初夏五月頃、淡い赤
紫の小花をつける。葵祭で使
う葵のこと

ふゆあおい* 冬葵 [冬植] 冬に
なってもまだ花のある葵のこと

からあおい 蜀葵 [夏植] 葵の
一種

つるあおい つる葵 [夏植] ユキ
ノシタの別称

つるあおい 蔓葵 [夏植] 葵の
一種

しろあおい 白葵 [夏植] 葵の
一種

とろろあおい 黄蜀葵 [夏植] 中
国原産のアオイ科の一年草。晩
夏から初秋にかけて黄色の大き
な花をつける。根の粘液は紙漉
用の糊や薬用にする

かんあおい* 寒葵 [冬植] 葵と
は別種。山地の木陰に生える多
年草で、寒中も青々している
もの

【覆】おおい
《春》貝覆 茶覆

新訂 逆引き季語辞典

—末尾のことばから類語を探す

2021年12月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

© Nichigai Associates, Inc. 2021

不許複製・禁無断転載

<落丁・乱丁本はお取り替えいたします> (中性紙・北越淡クリームキンマリ使用)

ISBN978-4-8169-2902-1 **Printed in Japan, 2021**

本書はデジタルデータでご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。